

Remember Present Tree. in Miyako

■これまでの植栽木9品種



■思い出の6年間

認定NPO法人環境リレーションズ研究所主催で平成24年度から始まった植樹イベントは、今回で最終回を迎えることとなりました。思えばたくさんの記憶が思い起こされますが皆様にはこれまで使用してきた素材を総集編としてご覧いただきたいと思います。



■Present Tree. 植樹管理タグ
人生の記念に植えられた一本一本に、シリアルナンバーが付けられます。現地の取り付けは風になびくとキラキラ輝くように工夫され記念樹に小動物が近づき食害されない効果を狙っている。

■植樹参加人数750人超

H28.10 月末までの延べ人数。
植栽ノルマを与えているわけではないのに、皆さん一所懸命となって時間いっぱい植付に尽力。
参加される方々の志は強い!



■Present Tree. の苗木生産者

株式会社大森種苗 代表取締役 大森茂男氏
岩手県二戸市浄法寺町にて苗木の生産を行う。苗木の生産量は県内一! 大森氏あつての Present Tree. も過言ではなく岩手県山林種苗協同組合の代表組合長も務めておられます。



■草刈が森に与える影響

植栽木の見出し杭は、皆さんが植栽するポイントの目安となるだけでなく、小鳥の止まり木にもなる。やがて休憩中の小鳥が落とすフンの副産物には、消化しきれなかった種子が含まれており、新しい森林をつくる我々にとっては有効な手段となる。



■林業から顔まで幅広く活躍!

株式会社ナカクラ 代表 佐藤 崇氏
宮古市に隣接する岩泉町出身。いい意味であらゆることの事情通であり、地域貢献を身上に精度の高い仕事に取り組んでくれる。



カツ ココン トン



■並んで一斉に打つ音色は森の演奏会♪
列がきれいに並ぶ植栽木の見出し杭は作業者の努力が伺えます。並列になってハンマーで打つ音色はいつかドレミをやってもらいたいものである。軽い音がする時はネズミの鳴き声にあたった証拠。

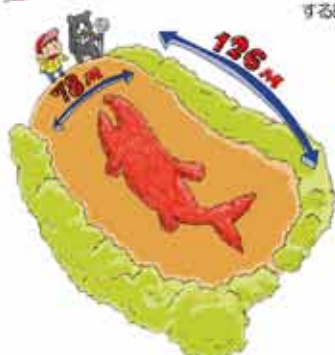
■チェーンソーカービング

Present Tree. 看板にあるフクロウは「KIKORI アート倶楽部」の三上孝弘氏の作品。フルスコトルでチェーンソーを操り、短時間で作品を完成させる。



■シャク型植樹

実験的試みで苗木をシャクの形で配分してみました。シャクはナナカマド。その周囲はサクラ等。
点で始まる植林活動を、地球規模でメッセージを残そうとチャレンジ。数十年後・・・衛星写真上では「謎のシャクフライ」と呼ばれるでしょうか。



■アルプホルン体験

植栽地も、兜明神岳、早池峰山が一望できる環境となり、気分はスイス!!



Remember

Present Tree. in Miyako

■兜明神岳 Kabutomiyajindake
Elevation 1,005m

森林生態系のトップに君臨する
猛禽類が増えることは、環境が豊か
である証明



■Present Tree. を食害する仲間たち
生態系の底辺に君臨する小動物であるがゆえ
植樹された木は格好の餌場で見逃さない。
我々管理者には迷惑な存在である。
しかし根茎を食害するネズミは、ドングリの実を保存
するため地下に埋設するが、忘れられた実はのちに
芽吹かせ、新しい森をつくりあげる。

■漁師は必ず閉伊川から水をもらう
漁師は必ず船の中の水を空にして宮古湾に入る。
そして閉伊川の水を満タンにして沖に行くそう
です。良質な水であることが証明されます。



区界高原ウオーキング
センターで
詳しく伺ってみよう!



■イベント植樹が1.1」
苗木を植栽する楽しみも
ひとつあるが、種から発芽する
喜びも体験していただきたく
ミズナラのドングリも埋めていただき
ます!つまり1.1とは苗木1本に対し
種子0.1の意味です。スピーカーのワーファー
みたいですね。ドングリは「シードバンク」
(種の銀行)といわれています。いつか芽を出すチャン
スを夢見て耐えるようです。ちなみに種子の埋め方を
大森氏にご教授願うと、ドングリは乾燥に弱く、今年なった実は
今年のうちに埋めないといふそうです。軽く土をかける程度で
発芽率が上がるそうなので是非チャレンジを!



川という字はね〜?

■ツキノワグマ
食性は植物食傾向の強い雑食。
堅果類(ブナなど)の作付け具合
で繁殖が左右される。
子を守るために人間を襲うこと
もあり、山林で小熊と遭遇した
時は、人生最大のピンチ!!と
思える...



Present Tree 本体看板には熊の爪あと・体毛があります

映像は環境リレーションズ研究所に提供し
早速YouTubeにUPしてくれましたよ!

詳しくはご覧あれ

[Presenttree YouTube]



■Present Tree 会場でクマと遭遇
この林業業界では、クマと遭遇したくない
の話をすると、出会った体験をもつものは
一目置かれる。私もそれなりにクマとの
遭遇は多いが、今回は歴代遭遇ベスト1に

200m先から林道をとぼ
とぼのん気に歩いてきたので
車から降り、車体の前で撮影。
30m手前まで気づかずに
くるので最期はどうかと
心配したが、二度見して
脳に反れてくれました。

Welcome to the Present Tree. in Miyako

平成29年6月4日(日) 岩手県宮古市区界高原

平成24年度から始まった、Present Tree. 植林活動も今年度で6年目を迎え、ここでの植栽面積は12haを達成することができました!! 遠方より足を運んで植林活動にご協力・ご支援をいただけることに、心より感謝するさせていただきます。これからも皆様との植林で繋がった縁を力にがんばります!

認定 NPO 法人環境リレーションズ研究所、宮古市、株小林三之助商店、岩手県森林整備協同組合

Present Tree!



植栽地は宮古市区界高原の最高峰へ

岩手県で一番高い山は①岩手山(2,038m)で、次に②早池峰山(1,914m)となり、特異な形をみる、兜明神岳(1,005m)は標高順位こそ言い表せませんが、寒さで競えば全国1、2位を獲得することは間違いない。しかしながら、5年を経て活動してきた植林地も、兜明神岳よりも高い位置づけとなって、1,035m!!。植林地から見渡す風景はアルプスの少女ハイジを思い起こされる。ちなみに、岩手県で高い山「岩手山」は、東斜面が美しく裾を引くことから「南部片富士」や、春の残雪の模様がワジに見えるなどで「巖巖山(がんじゅさん)」と呼ばれます。

植栽樹木は2種類

■ブナ 樹木の保水性は高いが、成長速度は遅く5年で樹高1m程。直径が40cmになるのに100年と見る。

種子に毒はなく、カロリーが高い実として、山の動物たちの格好の餌となり、「森のアーモンド」と称される。

特にこれを好物とする、クマはブナの実の豊作で繁殖が左右されるといわれている。

一般に木の実は、動物たちに全ての実を食べられないように、定期的な豊凶の波をもつがブナには豊凶の周期性がないといわれる。

■ミズナラ 材は堅く、やや赤みを帯びた淡褐色で、磨くと美しい艶が出る。コナラ属をオークと呼び、良質の建築材とした。日本のオークは欧州オークより良質で、「Japanese Oak」として輸出。種子の堅果は「ドングリ」と呼び、リスやノネズミの餌となり、タンニンが多く渋みが強いため、土中に埋めアケを抜く。ここで忘れ去られた実は後に芽吹き、新しい森を作り上げる。

数年後でも芽吹き、ドングリのこの効果から、「シードバンク(種子の銀行)」といわれる。



閉伊川は伏流水

ここ区界高原を基点とした源流は、閉伊川を伝ってやがて宮古湾へと繋がる、本州でも一番鮭が上る清流です。ここで知っておきたいのは、閉伊川は単なる表面流の河川ではなく、河床を潜流している、もうひとつの水「伏流水」によって宮古市を潤す極めて特別な地域であることを紹介したい。「伏流水」とは・・・地下水の一種で、河床、湖床やその付近の表層堆積物の中を潜流している水であり、砂礫層を流れることによって、水の不純物が減少し、結果的にろ過された水質となり、安定した良好な水になる特徴が挙げられます。特に、ここ北上山系特有の石灰岩を浸透することは、栄養分のミネラルが多く含まれることとなり飲み水だけでなく、お酒の仕込み水に使われ、更に宮古湾に注がれることで牡蠣(かき)等の漁場を潤します。伏流水は地下水として流れますが、やがて地表に現れ「湧き水」となります。

宮古市は、「99%」水は自らつくり、それを利用する、「水の地産地消」を行うことができる、全国でもあまり例が少ない地域です。今回、幼樹ながらも、皆さんが植えた行為は、20年後の宮古市を潤すことができる偉大な取り組みといえるでしょう。



伏流水(ふりゅうすい)

適地適木

笹地となった牧場跡地に樹を植える本活動は、植栽木の選定から吟味し、宮古市旧川井地区に自生する樹種を定めております。その種類は、オオヤマザクラ、トチノキ、イタヤカエデ、ミズナラ、ブナ、ナナカマドほかの9品種。

Present Tree. in 宮古を象徴する「シャクアイコン」がその形を模しています。

開始年度は多品目で植栽されて参りましたが、現在標高1,000mを有に超える6年目の植栽地の環境には、

高地でも耐えうる2品種ミズナラ、ブナのみとなりました。ここで林業技術用語で「適地適木(てきちてきぼく)」という

言葉があります。「樹木の能力にあった環境や土地に植栽を行うこと」の意味で、古くから林業を生業としてきた先駆者からの教えです。前述にあった選定作業が、この言葉どおりの行いです。最近の若い技術者はこの言葉を知っているのでしょうか。

我々林業マンが持っておきたい永遠の用語ですね。

